開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位		
科目[授業]名	7902 財務会計論			開講形態 (隔週 偶数=隔週2コマ)	週間授業		
種別	なし			定員			
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	0		
曜日時限	水曜3限	曜3限					
教室	H401教室						
代表教員	海老原						
担当教員	海老原						
テーマと到達目 標	財務会計とは、企業が外部の利害関係者(投資者や債権者)に対して、企業の財産に関する情報を提供することを目的として行われる会計のことをいう(外部報告会計)。この授業では、財務会計において利害関係者に提供される情報のなかでも最も重要な損益計算書および貸借対照表について、それらに記載される金額がどのような考えに基づいて計算されたものであるかについて理解することを目標とする。						
概要	 この授業は、講義形式で行う。 (1) 授業のはじめに10分程度の時間をとって小テストを行う。小テストの内容は直前回に学習した内容とする。 (2) 小テストに関するフィードバックは、小テストを実施した直後に行う。問題の回答、間違いやすいところ、覚えるべきところについてポイントを説明する。 (3) 小テスト、フィードバック終了後、各回の講義を行う。講義は板書によって行い、スライド資料の配布は行わない。 2. 小テストおよび期末試験は記述式の問題を出題する。講義で学んだ内容を自分の言葉で説明できるようになることを目標にしてほしい。 						
対面科目/オンライン科目	対面科目						
授業計画				担当教員 (複数する場合のみ言		授業方式	
第1回	オリエンテーション					対面授業	
第2回	財務会計の意義					対面授業	
第3回	期間損益計算					対面授業	
第4回	収益の認識と測定(1) 実現主義					対面授業	
第5回	収益の認識と測定(2) 履行義務の履	行による収益の認識	載と測定			対面授業	
第6回	費用の認識と測定(1) 費用と収益の	対応				対面授業	
第7回	費用の認識と測定(2) 繰延べと見越	L				対面授業	
第8回	費用の認識と測定(3) 減価償却					対面授業	
第9回	費用の認識と測定(4) 負債性引当金					対面授業	
第10回	金融商品の評価(1) 金銭債権の評価	と評価性引当金				対面授業	
第11回	金融商品の評価(2) 有価証券の時価	評価				対面授業	
第12回	純資産の区分表示					対面授業	
第13回	 連結財務諸表(1) 連結財務諸表の意	 義				対面授業	
第14回	連結財務諸表(2) 連結財務諸表の作					対面授業	
第15回	この授業のまとめ					対面授業	
成績評価の基準	1. 平常点(小テストの得点による)30%、期末試験70%の割合で計算した素点をもとに評価する。 2. 出席数が講義実施回数の3分の2に満たない場合、期末試験において不正行為があった場合は、素点にかかわらず不可とする。						
履修にあたって の留意事項	 授業にはノートを持参し、板書を書き写し、教員の説明を書きとめること。 小テスト、期末試験いずれも持込みは不可とする。 この授業では遅刻の取り扱いはしない。小テストが提出できなかった場合は欠席として取り扱う。 この授業では公欠、不欠席の取り扱いはしない。どのような理由による場合も欠席は欠席として取り扱う。 講義内容について質問等があれば、wako portalのQ&A機能を使用して行うこと。 						
オンライン授業 方式(同時双方向 型・オンデマン ド型)の詳細	なし						

|--|--|

◆教科書・教材

教科書以外に必 要な教材費用	なし		
教科書	なし	教科書(ISBN)	
参考文献	なし	参考文献(ISBN)	